

「こうや花鉄道」プロジェクト  
高野線・紀伊清水駅に程近い  
**「菜の花スポット」が見ごろを迎えました！**

南海電鉄（社長：亘 信二）では現在、「こうや花鉄道」プロジェクトとして、世界遺産・高野山という目的地に加え「そこへ向かう道中」においても鉄道の魅力を作り出し、高野山旅行の「楽しさ」や「期待感」の創出に取り組んでいます。

そしてこのたび、同プロジェクトの一環として、紀伊清水駅近くの線路脇スペース（橋本市清水）で地元ボランティア「ふるさとさーくる学文路」の皆さんと協働で種をまいた「菜の花スポット」が見ごろを迎えました。 4月上旬ごろまでが見ごろとなります。



菜の花スポット（今年3月12日撮影）

「菜の花スポット」について  
春に鮮やかな黄色い花を咲かせる菜の花を車窓からお客さまに楽しんでいただけるよう、当社では平成20年10月、紀伊清水駅近く（難波側）の線路脇スペースを「菜の花スポット」として整地しました。地元ボランティア「ふるさとさーくる学文路」の皆さんや橋本市と協力して菜の花の種をまいたところ、昨年3月にはたくさんの花が咲きました。今回は昨年秋の種まきによる開花となります。  
【広さ】約203㎡

**「ヒガンバナの球根」約1万個を植えています！**

また当社では、社団法人日本民営鉄道協会の協力を得て、今年の3月1日から「菜の花スポット」の難波側の線路脇スペース（広さ約390㎡）に「ヒガンバナの球根」約1万個を植えています。

「紀伊清水季節の花スポット」としてお客さまや沿線の皆さまに満開のヒガンバナを楽しんでいただけるよう、今秋の開花を目指して球根の植え付けと苗の世話に取り組んでいます。

ヒガンバナの球根植えつけ（3月3日撮影）



以上



## 南海電気鉄道路線図

